

第51回 日本糖尿病学会 九州地方会 開催にあたって

会長 琉球大学 大学院 医学研究科 内分泌代謝・血液・膠原病 内科学講座 (第二内科)
教授 益崎 裕章

日本屈指の肥満県・糖尿病県である沖縄の地で第51回 日本糖尿病学会 九州地方会 を開催させて戴きますことの意義と重要性を深く認識し、誠に貴重な機会を与えて下さいました日本糖尿病学会 九州支部長の 熊本大学大学院 生命科学研究部 代謝内科学 荒木 栄一 教授をはじめ、日本糖尿病学会 九州支部の皆様にご心より御礼申し上げます。

13年ぶりの沖縄開催となります。本会は 平成25年11月8日 (金)・9日 (土) の両日、沖縄県 宜野湾市の「沖縄コンベンションセンター」・「ラグナガーデンホテル」・「カルチャーリゾートフェストーン」の隣接3会場にて運営させて戴きます。学会前日からの3日間、「那覇空港 (AM8:00~10:00)」および「那覇市 新都心 (おもろまち) の中心、沖縄 DFS (デューティーフリーショップ) GALLERIA」におきましても参加受付コーナーを設置し、皆様の利便性を高めるとともに、学会期間中、沖縄 DFS (デューティーフリーショップ) GALLERIA から学会会場までのシャトルバスを多数、運行致します。是非、御活用 戴きましたら幸いです。

本年、2013年の干支は 癸巳 (みずのとみ、きし) であり、旧態のものが水によって洗い流され、蛇のように脱皮して新しく生まれ変わる年とされます。一世紀の折り返し点となる記念すべき第51回の日本糖尿病学会 九州地方会のテーマを“半世紀スタートに向けて:新たな一歩を踏み出した糖尿病診療”とさせて戴き、進歩・発展が目覚ましい糖尿病診療の知見や経験を“医療チームとして共有する学会”を目指したいと願っております。

頂戴致しました一般演題数は過去最多の488 に達し、女性の発表割合は52 %となりました。また、87の一般演題セッションに占める女性座長の割合は23% (20 セッション) に達し、こちらも最高記録を作りました。学童を含めた託児施設も充実させました。九州・沖縄エリアの糖尿病診療における女性医師・女性スタッフのさらなる御活躍を期待し、女性がキラキラ輝く九州地方会となることを祈念致しております。

糖尿病専門医 単位取得制度に関わる指定特別講演は11月8日 (金)・9日 (土) 両日の午後、兵庫医科大学の難波 光義 教授、熊本大学の荒木 栄一 教授の御二人の先生から頂戴致します。また、糖尿病診療と関連の深い高血圧症や心不全の病態・治療に関する会長企画特別講演を札幌医科大学の島本 和明 学長、東京大学大学院 医学系研究科 循環器内科学の小室 一成 教授から頂戴致します。

3つのシンポジウムのうち、2つは糖尿病チーム医療・多職種連携・地域連携にフォーカスを合わせ、九州・沖縄エリアでCDEJやLCDEとして御活躍のスタッフの皆様に登壇して戴きます。学術的進歩を共有する もうひとつのシンポジウムでは 非アルコール性脂肪肝炎 (NASH) (佐賀大学 安西 慶三 教授)、糖尿病と関連の深い 治療抵抗性高血圧症 (大分大学 柴田 洋孝 教授)、インスリン抵抗性と動脈硬化 (鹿児島大学 西尾 善彦 教授) の御講演を頂戴致します。3つの教育講演では 九州大学の井口 登與志 教授、名嘉村クリニックの名嘉村 博 院長、長崎大学の川崎 英二 先生から、それぞれ 糖尿病性腎症、睡眠時無呼吸症候群と睡眠障害、糖尿病治療薬選択に関する実践的な御話を頂戴致します。

開催時期は 例年、沖縄の爽やかな 海の青・空の青 を楽しんで戴ける好季節です。実り多く楽しい学会となりますように願いを込め、多数の御参加を教職員一同ならびに糖尿病診療に関わる沖縄県内スタッフ一同、心より御待ち申し上げます。皆様の御指導・御支援を何卒宜しく御願申し上げます。

深い感謝 とともに